

震災・原発問題福島シンポジウム



日時 3月24日(土) 午後

25日(日) 午前・午後

場所 コラッセふくしま5階研修室
(JR福島駅西口 徒歩5分)

共催 経済理論学会、経済地理学会、
日本地域経済学会、基礎経済科学研究所

協賛 政治経済学・経済史学会

後援 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター、
日本経済学会連合

原発・震災問題シンポジウム プログラム

3月24日 現地交流シンポジウム

開場 12時45分

開会 13時15分

主催者あいさつ 山川充夫(経済地理学会)

司会 後藤康夫(経済理論学会)

セッションI 周辺自治体における避難と放射能との闘い

「3つに線引き・分断された街(20キロ圏・30キロ圏、圏外)」 南相馬市長 桜井勝延さん

セッションII 被曝した大地と農産物

「全面賠償と除染を求め直接行動する農民」 福島県農民運動連合会 事務局長 根本敬さん

休憩 (15時10分から15分)

セッションIII 立ちあがった新しい市民運動

「8・15世界同時フェスティバルFUKUSHIMAに全国から1万3千人、

ネット同時発信に全世界から25万人参加」

プロジェクトFUKUSHIMA実行委員会代表 ミュージシャン 大友良英さん

セッションIV 被災者の生活実態と求められる支援

「避難所のなかの子どもたちと学生の支援活動」

福島大学人間発達文化学類 三浦浩喜さん

* 懇親会 18時から20時 コラッセふくしま12階レストラン

3月25日(日) 学術シンポジウム 9時開会

司会 森岡孝二(経済理論学会)

セッションI 日本の社会科学と震災・原発問題 (9時半から12時半)

1. 八木紀一郎(経済理論学会代表幹事)

2. 廣渡清吾(前日本学術会議会長)

3. 山川充夫(経済地理学会会長)

4. 濱田武士(日本地域経済学会)

5. 大西広(基礎経済科学研究所)

討論

休憩

セッションII ローカル・ナショナル・グローバルな連関 (13時半から16時半)

司会: 山本孝則、吉田央(経済理論学会)

1. 福島・東北 福島大学名誉教授 鈴木浩(福島県復興ビジョン検討委員会座長)

2. チェルノブイリ 福島大学副学長 清水修二(福島県チェルノブイリ調査団団長)

3. ドイツの脱原発の道

ベルリン自由大学環境政策研究センター長

ミランダ・シュラーズ(ドイツ政府エネルギー問題倫理委員会委員)

討論

16時半 集会宣言にむけての討論

17時 集会宣言採択・閉会

参加費・参加手続き

会場の収容人数に限界(120人)がありますので、事前にお申し込みください。

参加費(当日受付で徴収)

24日午後 500円、24日夕 懇談会 4000円

25日午前 500円 午後 500円

申し込み先: 事務局

事務局長: 後藤康夫(福島大学: 経済理論学会)

事務局員: 巖成男(福島大学: 経済理論学会)

〒960-1296 福島市金谷川1 福島大学経済経営学類 巖成男 研究室

電話 024-548-8377 ファックス 024-548-8390

chn-yan@econ.fukushima-u.ac.jp